

新年のごあいさつ



『スローシティの理念に基づく まちづくり』

牛久市長 池辺 勝幸

明けましておめでとうございます。旧年中は、市政運営に多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

混乱する社会情勢の下、国内経済は依然として厳しい状況にあります。牛久市では徹底した行財政改革により、市民のニーズや今後の市の発展のための施策を展開できるまでに改善されております。

昨年は、ひたち野うしく小学校の開校をはじめ、牛久駅前活性化社会実験の実施や牛久駅東西口へのエレベーター設置のほか、ひたち野うしく駅東口のリフレビルを市役所・図書館の出張所や保育園の分室などが入った複合的コミュニケーション施設としてリニューアルしました。今年の4月には、このリフレビルに市民の皆様から要望が多かった郵便局も開設されますので、さらに利便性が高まるものと期待しております。また、今年の1月には向台小学校の余裕教室を利用した「牛久ふれあい保育園」が開園するほか、4月にはひたち野地区に民間の保育園が開園します。今後も引き続き、待機児童の解消に向けて取り組んでまいります。

牛久市では、人々が自然や食とのつながりを持って、ゆったりと暮らす人間サイズのまちづくり、いわゆる「スローシティのまちづくり」を進めています。牛久市バイオマスタウン構想に基づく循環型社会の構築や地産地消、地域ブランド創出による地場産業の振興、地域雇用の促進による生活の向上なども、この「スローシティ」の理念に基づくものです。

このような地域経済システムを構築し、市民一人ひとりの生活の豊かさを考える「スローシティ」のまちづくりを推進しながら、地域の活性化を図ってまいりますので、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。

信頼され繁栄する

持続型社会の実現に向けて

牛久市議会

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、心も新たに希望に満ちた初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は市政ならびに市議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ると、子ども手当の支給開始や新内閣の発足、国内外における政治・経済・社会情勢の変動などにより、私たちの生活にも大きく影響が表れました。急激な円高、雇用情勢の悪化、個人消費の低迷、企業の設備投資抑制と、迎えた平成23年も引き続き厳しい経済環境が予想されますが、本格的な景気の回復と成長への歩みをたどる確かな一年となりますようお願いいたします。

現在、本市をはじめ地方公共団体においては、厳しい財政事情や少子高齢化、地方分権など、将来に向けた大きな課題を抱えております。本市では、地域の特性に応じた活性化への取り組みを検討し、限られた財源のもと、あらゆる面で創意と工夫を凝らして、効果的、効率的な行財政運営に取り組んでいくところです。

市政に対する議会の監視機能と、民意を施策に反映させていくことの重要性がますます問われる中、議会の役割と責務をより一層認識し、その機能を最大限発揮して、笑顔があふれる安らぎのあるまちづくりに向けて、市民の皆様と手を携え、さらに前進してまいりますので、どうか本年もより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、実り多く健康で幸せな年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のあいさついたします。



議長
茶谷 巖



副議長
石原幸雄



姉妹都市・親善友好都市から新年のメッセージ

【姉妹都市】
カナダ ホワイトホース市から



ホワイトホース市長
ベヴ・バックウェイ

姉妹都市の皆様は新年のご多幸とご繁栄を祈って、ごあいさつを申し上げます。

今年、4月に牛久市から市民団の皆様をホワイトホースにお迎えすることをとても楽しみにしております。また、定例の行事である夏の青少年団の訪問もお待ちしております。私たちの交流の企画はとても意義あるものであり、これからも末永く姉妹都市の関係が継続することを願っています。

※6ページに提携25周年記念姉妹都市カナダ・ホワイトホース市派遣市民団員募集記事を掲載。

【姉妹都市】
オーストラリア オレンジ市から



オレンジ市長
ジョン・デイビス

オレンジ市議会、姉妹都市委員

会およびオレンジ市民を代表して、池辺牛久市長と牛久市の皆様に新年のごあいさつをする機会をいただき、ありがとうございました。

2010年はオレンジ市にとつて、市制150周年という記念すべき年でありました。これを記念して数々の地域の活動が実施され、大変活気に満ちた年となりました。オレンジ市には誇れる歴史があり、生き生きと前進する都市であることを誇りに思っています。

昨年3月には、オレンジ市内の高校と姉妹校になっている牛久市の高校から生徒を受け入れました。これは一年おきに実施されている企画で、生徒たちはオーストラリアの生活様式を経験することにとっても積極的でした。9月には、オレンジ市の3つの高校の生徒が牛久市を訪問し、日本の文化や伝統を経験することができました。彼らはこの訪問を心から楽しんで、帰国したときには牛久市でのおもてなしに大変感謝しておりました。

何年にもわたって、私たちは互いにこの交換青少年の企画から多くを学んできました。そして何よりも重要なことは、この友好関係を維持することによって、国際的な理解と善意をはぐくむことができるということです。

新年の多幸とご繁栄をお祈りするとともに、2011年が平和で調和の年になりますように。

明けましておめでとうございます。牛久市の皆様には、希望に満ちた新春を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

少子・高齢化が進行する中で、貴市が首都圏の新しい衛星都市として飛躍的に発展されており、誠に喜ばしい限りでございます。

昭和61年の姉妹都市提携以来、毎年、貴市からは「ハイキング」や「秋まつり」に多くの市民の皆様にお越しいただき、また、本市から「うしかっば祭り」や「うしく Wai Wai祭り」に参加させていただいた折には、心温まるおもてなしをいただいております。心から感謝申し上げます。

今後とも、文化、産業、観光など、それぞれの地域特性を生かした交流を通して、両市のきずながさらに深まることを心より期待いたしております。

貴市のますますのご発展と、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

明けましておめでとうございます。

牛久市の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、本町の「かっぱのふるさと祭り」に、多数の牛久市民の方々にお願いいただき交流を深めていただきましたこと、大変ありがたございました。心から御礼申し上げます。

さて、健康志向の昨今、色麻町の特産品であります「えごま商品」が、大好評を得ており、えごま醤油やえごま卵かけご飯醤油などの新商品を発売、さらに昨年10月から仙台駅構内の直営店「立ち食いそば処杜」で「えごま卵かけごはん」の提供も始めたところであります。こちらにお出掛けの際はぜひお立ち寄りください。

今後も交流事業を通して、牛久市と色麻町のきずなをより一層強いものにしてまいりたいと思っております。今年7月の「うしかっば祭り」には、牛久市の皆様にお会いできることを心から楽しみにしております。

牛久市のますますのご発展と市民の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。新年のあいさついたします。

親善友好都市
宮城県 加美郡 色麻町から



伊藤 拓哉

色麻町長

姉妹都市
茨城県 常陸太田市から



大久保 太一

常陸太田市長